

式辞

今年は例年になく遅咲きの桜が、まるで皆さんの入学を待っていたかのように咲き誇る今日の良き日、大阪府立日根野高等学校、第38回入学式を挙げていただきましたところ、新入生の皆さん、また来賓の皆様とともに、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、本当にありがとうございます。高いところからではございますが、教職員一同を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、ただいま入学を許可いたしました240名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、今日晴れて私たち日根野高校の仲間入りをする事になりました。私たちは皆さんの入学を心より歓迎いたします。これからの3年間、一緒に様々なことを経験し、一回りも二回りも大きく成長をした姿で、3年後の卒業の日を迎えられることを楽しみにしています。

ところで、皆さんにとって「大切なもの」は何ですか、と聞かれて何を思い浮かべますか。中には、入学のお祝いを買ってもらった新しいスマートフォンや、今どき推しのプラバンなどをイメージした人もいるのかもしれませんが。しかし、世の中で本当に大切なものは、家族などを除いては、すべてが形のないものであり、お金では決して買えないものになります。例えば友情や愛情、また時間や人からの信頼などがこの世の中で本当に大切なものであることにぜひ気づいてほしいと思います。

その中でも友情や愛情は、人が生きていくうえかけがえのない大切なものだと思います。人は人とかかわることで喜びや悲しみを知り、そのかわりの中で多くのことを学び成長をしていく事になります。人とかかわりのない人生、友達のいない人生、これほどつまらないものはありません。

友達は社会人になっても作ることはできますが、実は社会に出てから友情をはぐくむ機会はそう多くはありません。人と人の濃密な人間関係の多くは、高校や大学の学生時代に作られます。日根野高校はその意味ではとても良い学校だと思います。日根野高校で多くに人とかかわり、楽しいことや時にはめんどくさいこともたくさん経験してください。その経験は皆さんの人生において大きな宝物になります。また、入学後クラブに加入することをお勧めします。クラブ活動は多様な人間関係を作るうえでとても良い環境だと思います。

皆さんはこれからおよそ千と50日余りを日根野高校生として過ごす事になります。この千日という時間を「千日も」と考えるのか、「千日しか」ととらえるのか、それぞれかとは思いますが、しかし、今日から千日後、3年生となり、卒業式を間近に控えた未来の皆さんのほとんどが、これらの日々を振り返り、「千日しか」なかったと思う事になります。時間を大切に学校生活を送ってほしいと思います。

時間は、今のこの瞬間も刻々と全ての人に等しく、平等に流れています。しかし、15歳である皆さんにとっての1日、1時間、1分、1秒と、60歳を超える私のそれとでは、その重みや大切さは、何倍も何十倍も皆さんに流れる時間のほうが重く大切であることを知ってほしいと思います。

今の皆さんは、人生の中でも最も成長をする時期であり、また人との関係を作る上でも最も大切な時を迎えています。たった千日しかない時間を大切にすごしてください。この千日の間に多くの人とかかわりを持ち、様々なことに積極的に取り組み、目標を持って努力を重ねる、そんな有意義な3年間をここ日根野高校で過ごしてくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様方には、改めまして本日はおめでとうございます。今日からの3年間、お子様を大切なお預かりをさせていただきます。子どもの成長には、家庭と学校の緊密な連携が不可欠となります。本校の教育活動にご理解をいただき、ご支援賜りますようお願いいたします。

さあ、新入生の皆さん、皆さんの新しい世界への扉は今まさに開かれました。皆さんの日根野高校での3年間が笑顔に満ち溢れ、充実したものになることを祈念し、式辞といたします。